令和3年度 第2回全国健康保険協会沖縄支部評議会議事概要

開催日時	令和 3 年 10 月 28 日 木曜日 15:00~17:00
会場	沖縄県市町村自治会館
出席評議員	米須評議員、篠崎評議員、下地評議員、仲宗根評議員、前田評議員、宮城評議員 (五十音順)
議題	

【審議事項】

- (1) 令和4年度平均保険料率について
- (2) インセンティブ制度に係る令和2年度実績の評価方法等について
- (3) 令和4年度支部保険者機能強化予算(案)について

【報告事項】

- (1) インセンティブ制度の見直しに関する検討状況について
- (2) 5 者協定について
- (3) その他

議事概要

(主な意見等)

(開会)

【事務局】

(1) 令和 4 年度平均保険料率について 説明

【評議員(事業主代表)】

この論点の説明の中にジェネリック医薬品の使用促進も入っています。ジェネリック医薬品が不足しているという報道もありましたが、決算の中で影響を及ぼす可能性があるかどうか確認したいと思います。

【事務局】

ご承知のとおり、ジェネリック医薬品のメーカーに昨年不祥事があり、製造停止の処分が出されました。これにより前年度後半ごろからジェネリック医薬品の供給が安定的でないという事から色々な問題提起がなされています。協会けんぽとしては、ジェネリック医薬品業界に対する改善策等を求めて、1月にはジェネリック業界から改善策が提出されております。これを踏まえて、安定的な供給がなされるであろうという前提で、従来通りのジェネリック医薬品の推進をすることとしています。

ジェネリック医薬品の供給不足につきましては、現実に発生していましたが、供給不足による協会 加入者のジェネリック医薬品の使用割合への影響は現時点では見受けられません。

【評議員(事業主代表)】

これだけの準備金が積みあがってくるとなると論点としても出ている通り、我々としてはやはり下

げてほしいという気持ちもあります。ただ、これだけネガティブな資料があって将来的に不足してくるということであれば、これは致し方ないのかなということもあります。10%という数字も納得せざるを得ないのかなという気はしております。今後も保険料率がなるべく上がらないような努力をしていただきたいと考えております。みなさんも多分同じ意見だと思います。

【議長】

「令和4年度の平均保険料率について」の論点1は平均保険料率10%維持ということでお願いをするということで、確認を取りたいと思います。

論点の2ですが、令和4年度保険料率の変更時期について、令和4年4月納付分3月分からでよろ しいでしょうか。

【一同】

異議なし

【事務局】

審議事項(2)インセンティブ制度に係る令和2年度実績の評価方法等について」説明

【評議員(事業主代表)】

質問ですが、評価割合のウェイトを据え置いた場合に最初のシミュレーションの順位も変わってくるのでしょうか。また、加算率を据え置かれた場合に法定準備金等に影響はありますか。

【事務局】

据え置いた場合のシミュレーション結果は変わりません。

インセンティブ制度の拠出金は、各支部で均等に総報酬に対して、現在は 0.007%を拠出することになっております。この拠出金は上位 23 位内の支部にすべて配分されます。結果的にはプラスマイナスゼロになります。そのため、収支には全く影響はありません。上位に応じて、金額を多くもらう支部もあれば、24 位以下の下位の支部は拠出しっぱなしということになります。大規模支部と小規模支部の公平性に欠けるのではないかという議論が出ています。大規模支部は評価指標の推進に難渋し、小規模支部はそれだけの努力によって成果が出る。大規模支部は、不特定多数で数字がなかなか上がらないが拠出金はたくさん出すため、不公平ではないかということが、ひとつの論点になっています。

【評議員(事業主代表)】

資料 2-2 の運営委員会から出された意見ということで、上位 15 支部程度に絞ることで減算率を上げるというのは本部からの意見なのか同様の意見の支部は全国でも多いのでしょうか。

【事務局】

各支部の評議会で次のような意見が出ています。インセンティブ制度というのは、みんなに頑張っ

てもらって、その成果に対し、報奨金を出そうというものです。より多くの支部にインセンティブを付与した方がいいのではないかという意見もありますが、拠出額を増やさずに対象支部を増やすとそれぞれのインセンティブが小さくなる。これでは、あまり効果がないのではないかという事で、インパクトを出すためには保険料拠出額を引き上げるかという議論になる。拠出額を引き上げると分母が大きくなるため、インセンティブも増えることになる。難点は拠出額が増えると加入者の負担額が増えることになるという現実があります。それを避けるために拠出額はそのままにして、対象支部を減らしましょうということで今現在の23支部を3分の1にすると15支部になりますので、取り分を増やしてあげようというのがこの説明です。

【評議員(被保険者代表)】

いろいろ考えますとやはりコロナの影響は全然想定できなかったところだと思いますので、去年今年の状況を勘案して補正するというのは、やはり全国で不公平感が出る。支部間で不公平感が出るのかなというのは一般論として私も思います。インセンティブ保険料率の 0.01%への引き上げをどうするかということにつきましても、やはり想定出来なかった事が起こっていますので、一旦据え置きという運営委員会でまとめられた意見でいいのではないかと思います。

【評議員(被保険者代表)】

私も同じように思います。新型コロナの影響が大きかったため、大都市の方が不利になったりだと かいう事も考えると2番目の論点、引き上げの部分については行わずにそのままにした方がよいと思 います。補正についても、同じくなかなか難しいのではないかと思いました。

【議長】

それでは、論点1については、補正は行わないということでよろしいでしょうか。

【一同】

異議なし。

【議長】

それでは、令和2年度実績を令和4年度保険料率に反映させる場合において、新型コロナウイルス 感染症の影響を踏まえ、インセンティブ保険料率の引き上げを行った方がいいのか、それとも据え置 いた方がいいのかのご意見をお聞かせいただきたいと思います。

【評議員(事業主代表)】

据え置いた方がいいのではないでしょうか。

【評議員(事業主代表)】

私も据え置いた方が今回はいいと思います。

【議長】

新型コロナウイルスの影響もあって、不透明さもあるので、今回は据え置きという意見でよろしいでしょうか。

【一同】

異議なし。

【事務局】

(3) 令和4年度保険者機能強化予算(案)について 説明

【評議員(事業主代表)】

では、ふたつ教えていただきたいと思います。

まず一つ目ですが、広告意見発信経費の新聞を活用した広報のメディア、媒体はもうお決まりなんでしょうか。というのが一つ。それから、コラボヘルス事業経費で、事業所とコラボした高血圧改善プログラムがすごく楽しみです。これは、希望した事業者が手を挙げれば対応して頂けるという事でしょうか。

【事務局】

新聞を活用した広報につきましては、まだどちらの媒体、新聞社を使用するという事は決まっておりません。これから、本部を通して、予算を認めていただいた後に公告を出した後に決定ということになります。

【評議員(事業主代表)】

所謂ローカル新聞を想定しているというわけですね。本島ですと、沖縄タイムス、琉球新報ですが、離島になると宮古、石垣は意外に本島のメディア新聞よりも地元の新聞の方が先に読まれていたりしますので、そうなると媒体数が増えて、これだけの予算でいけるのかと思いました。

【事務局】

ありがとうございます。そこも含めまして、本部提出前にもう一度予算を見ながら検討したいと思います。実は支部の中でも宮古、石垣は別ではないかとの意見もございましたので、改めて前向きに検討して準備したいと思います。

【評議員(事業主代表)】

もうひとつは、高血圧改善プログラムは、具体的な何かがもう決まっているのでしょうか。 手を挙げた事業所にはみなさんで対応してもらえるのかどうか。うちも手を挙げたいと思っています ので。

【事務局】

まずは、後程ご説明予定の5者協定の資料の一番最後に記載してありますので、ご覧ください。被保険者、協会けんぽにデータがある内の血圧リスク保有率が50%以上のうちな一健康宣言事業場をまず対象として実施していこうと考えています。これを段階的に広げていこうと考えています。

もちろん、高血圧リスクのある方がいらっしゃるということでしたら、ご相談頂ければ個別で対応 もしておりますので、是非保健グループまでご一報いただければと思います。よろしくお願い致しま す。

【評議員(事業主代表)】

新規以外で、令和3年度で進捗状況の中で継続事業というのは、続けておられるのか、それとも厳 しい状況なのか教えて頂きたいと思います。

【事務局】

企画総務グループの事業の中で、うちな一健康経営セミナーを本年度上期に県、労働局、医師会等と連携して実施する予定としておりましたが、新型コロナウイルスの影響を受けまして、今回は中止という判断をした事業でありまして、次年度是非やりたいと考えて計上しております。次回は、新型コロナの影響があった場合でもWEBなり、YouTube なり方式を変更してでも実施したいと考えているところでございます。

保健事業の中では、市町村と一緒になった集団健診というものがございます。こちらも新型コロナの感染が拡がる中、中止した市町村もございまして、そこは影響を受けているということになります。特に那覇市、読谷村の方では、直接健診結果を返すという企画もございましたが、これも中止になったという事もございます。

また、協会けんぽが実施している訪問による保健指導も感染が拡がっていた8月9月には訪問を止めましてWEBで対応できる事業所についてのみ保健指導を実施したという事です。制限がかかったという所では、やはり影響はあったというところでございます。

【評議員(事業主代表)】

まだ、新型コロナウイルスの影響は続く可能性があるので、去年中止になって、今年も中止になるかもしれないではなくて、そういったことも加味しながら事業を準備された方がいいのかなと思います。計画の中身的には大変に良いと思いますので、そういったリスク管理も含めて、この事業予算の執行をしていただきたいと思います。

【議長】

それでは、「令和4年度保険者機能強化予算(案)」につきましては、ご承認ということでよろしいでしょうか。

【一同】

異議なし。

【報告事項】

- (1) インセンティブ制度の見直しに関する検討状況について
- (2) 5 者協定について
- (3) その他
- (1)(2)(3)について意見等なし

特記事項

• 傍聴者: 琉球新報記者